

小学校 1年 国語科

考える
想像する

話す・聞く
書く
読む

育成したい
国語力

似たところや違うところ、移り変わりをもとに挿し絵や文から想像しながら書いて、読んだりする。
考えの根拠となった部分（「わけ」）を明らかにしながら話す。

低学年
中学年
高学年
中学前
中学後
国語
社会
数算 学数
理科
生活
外国語
活特別
道徳
総合的 学習

単元名

おはなしを たのしもう 「たぬきの糸車」

本時の目標

文中の言葉を基に、おかみさんやたぬきの言葉を想像する。（読む能力）

教材等の例

ここに、教材文を視写します。

たぬきやおかみさんの言葉を想像して書きます。

お 声を出したら
にげそうだから、
だまって糸をまいていよう。

お じょう
ずにまねてる

た やって
たいなあ。

場面の絵

単元の流れ

第1次

・絵や題名から感じたことや、初読後の感想をまとめる。

第2次（本時）

・話の内容を読み取る。

第3次

・音読の発表会をする。

国語力育成の視点

入門期における国語科の学習では、絵を見て想像をふくらませる活動を大切にします。ふくらませた思いを楽しく話したり、聞いたり、書いたりすることや、文とつないで考える活動を取り入れることで想像する力や考える力をはぐくみます。

本時の流れ

導入

本時のめあてを知る。

めあて：おかみさんやたぬきは、もっとどんなことをいったのだろう。

展開

場面毎に音読をする。

おかみさんやたぬきになったつもりで、教科書にない言葉を書き加える。

・2枚目：たぬき 「やってみいたいなあ。」

・6枚目：たぬき 「いとがたくさんできたよ。おもしろかったな。」

グループで、場面毎に書き込んだことを発表する。

友達の発表を聞いて、さらに考えた言葉を書き加えたり、話し合ったりする。

まとめ

本時のまとめを行う。

視点①

入門期における国語科の学習では、絵を見て想像をふくらませる活動を大切にします。絵とことばのつながりを大切に活動を入れることで、想像をふくらませながら読む楽しさを味わうようになります。
読んだり書いたりする事の楽しさを味わい、豊かな言語感覚や想像する力の基礎を養うことができます。

視点②

読み取った内容を友達と交流することは、読みの力をさらに伸ばすことにつながります。
そのために、「読むこと」と「話すこと・聞くこと」と関連付けた指導を進めることが大切です。何をどのように話すのか、視点や型を示すこと（資料参照）は、話すことに慣れ、順序立てて考える力を育成することにつながります。また、根拠を示して話すことも低学年から大切にしていきたいです。

視点③

友達の意見を聞いてさらに、自分の考えを補足し、深めていくことは大切です。書くことを取り入れ、考えを確かめたり、書きながら思いをふくらませたりすることができます。

発表するとき（資料）

どのことばからかながえたかをいみましょう。

友だちとおなじところのいけんも、かながえたりゆうや友だちのいけんとのちがいについてはっぴょうしましょう。